

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立東淀川区民会館
施設所管課・担当	東淀川区役所地域課地域グループ（担当：澤田・魚住）
条例上の設置目的	コミュニティ活動の振興及び地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与することを目的とする。
業務の概要	(1)貸館運営業務 (2)施設総合管理業務（各種設備機器点検業務） (3)地域のコミュニティ振興に関する業務
成果指標	利用率/利用者満足度
数値目標	80.7%/90.0%
指定管理者名	一般財団法人大阪市コミュニティ協会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用率	利用者満足度
数値目標	80.7%以上	90.0%以上
年度実績	68.20%	98.5%
達成率	84.5%	109.4%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	40,486	41,222	-736
稼働率	68.20%	79.00%	-10.8%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	20,101,954	18,739,000	1,559,954	基幹的機器の損傷に伴う修繕経費の支出並びに電気及びガス料金の高騰に伴う管理運営経費の支出増加
	計画	18,542,000	18,739,000		
利用料金収入	実績	5,433,890	5,543,000	-1,872,810	有料の利用件数が計画を下回ったため
	計画	7,306,700	7,079,500		
その他収入 （自主事業収入）	実績	3,819,520	3,741,390	-884,480	各種教室の受講者数が計画を下回ったため
	計画	4,704,000	4,504,600		
合計	実績	29,355,364	28,023,390	-1,197,336	—
	計画	30,552,700	30,323,100		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	17,102,093	17,624,053	0	
	計画	17,102,093	16,909,253		
物件費	実績	9,807,668	8,715,628	-40,039	消耗品等の経費削減に努めたため
	計画	9,847,707	9,818,147		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	3,646,430	3,289,447	43,530	消耗品等の価格が高騰しているため
	計画	3,602,900	3,595,700		
合計	実績	30,556,191	29,629,128	3,491	—
	計画	30,552,700	30,323,100		

令和6年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用率80.7%以上	84.5%	C	
利用者満足度90.0%以上	109.4%	B	

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・ロビーの飾り付けに廃棄チラシ等を用いるなど、紙の再使用を積極的に行った。 ・不使用時の消灯の徹底、冷暖房機の適切な使用に努めた。 ・施設の機器点検、早期発見、簡単な修繕は職員で実施した。	B	・廃棄チラシに加え、廃棄段ボール・ペットボトル等を用いたロビーの飾り付けは、消耗品費の削減につながるだけでなく、ごみの削減の観点から、SDGsの取組にも貢献し、季節感のある快適な空間提供にもつながる取組であるといえる。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・条例・規則に基づき適切に予約受付・予約取消・抽選・使用料還付業務を行った。 ・供用時間中は窓口には常時2名以上配置し、総括責任者として1名を配置した。 ・施設の維持管理については、スタッフによる日常点検、専門業者による点検・修繕を適切に行った。
事業計画の実施状況	B	・年間を通して、事業計画に基づき、他区の区民センター等とも情報交換を行いながら、幅広い世代を対象とした内容で実施できた。 ・複合施設（プール・図書館）との連携をとり、共催事業等も実施した。図書館内に区民会館の利用案内ポスターを掲出するなど、利用者が流れるような取組も実施した。 ・自主事業のイベント時は、目を引くチラシを作成し、区広報紙・区広報板やSNSの活用、地域コミュニティ団体への広報協力依頼を行うなど、広報に力を入れる取組みを実践した。
施設の有効利用	B	・空き会議室を自習室として提供する「こぶしのみのりちゃん広場」事業を実施し、空室を有効利用した。 ・ロビーに四季折々の装飾を施し、楽しい雰囲気を創出した。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・多文化共生社会の実現に向けた日本語教室の開催や、個人の防災意識を高めるための防災ワークショップを実施した。 ・地元警察署の協力を得て、女性の被害防止教室やスマホ詐欺被害防止教室を実施した。 ・一人ひとりの人権意識向上のため、全職員が人権に関する講習会等を受講した。 ・夏季には自主事業イベントのチラシを貼付したうちの貸出を通し、熱中症予防啓発と自主事業PRを併せて効果的に実施した。

令和6年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

利用者アンケートを2回実施した。以下は、1回目（全利用者を対象）に実施した利用者アンケートの集計結果の一部。

実施期間：令和6年10月21日～10月31日

実施方法：利用者へのアンケート配布

回答件数：197件

○予約までの流れについて ・大変満足39％ ・満足59％ ・不満2％ ・大変不満0％

○スタッフの対応について ・大変満足42％ ・満足54％ ・不満4％ ・大変不満0％

○清掃について ・大変満足32％ ・満足63％ ・不満5％ ・大変不満0％

○設備や備品について ・大変満足23％ ・満足61％ ・不満6％ ・大変不満3％ ・使用していない7％

○総合評価について ・大変満足28％ ・満足69％ ・不満3％ ・大変不満0％

6 外部専門家意見

- ・和室を洋室のように使えるようにすることで、利用率上昇に取り組んでいるといえるため、評価できる。
- ・図書館等の施設から区民会館への導線がしっかりできているところ（図書持込み利用等の実績あり）は、評価できる点。
- ・SNSを活用し、施設を使用したユーザーの投稿をリポストする等にも取り組むとよい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	目標達成率について、利用率が84.5%、利用者満足度が109.4%となっており、利用率は今後の上昇に向け対策の必要を感じるものの、満足度については高い水準を達成できていると考える。親しみやすく丁寧な対応や、居心地よく快適な空間づくりの維持に努めており、引き続き顧客の定着化ができていることが考えられる。
市費の縮減	B	・廃棄チラシ・段ボール・ペットボトルを用いたロビーの飾り付けは消耗品費の削減につながるだけでなく、ごみの削減や、快適な施設の提供にもつながる取り組みであるといえる。
管理運営の履行状況	B	・条例・規則に基づいた予約等の処理、供用時間中の職員の常時2名以上配置などに加え、各種SNS・ホームページにて部屋メンテナンス等の情報発信をこまめに行い、利用者目線での運営に努めている。 ・自主事業のイベント時にチラシを区広報紙・広報板に掲示したり、町会回覧・SNSも積極的に活用し、多様な媒体を用いた広報活動を行った。貸室自体についても、利用料金の安さをPRするチラシを作成し、広報板に掲出した。 ・空き会議室を自習室として提供する「こぶしのみのりちゃん広場」事業を実施し、空室を有効活用した。 ・人権研修の受講、障がい者雇用の他、授乳スペース・ベビーシートの提供、防災ワークショップを実施した。 ・夏季には自主事業イベントのチラシを貼付したうちの貸出を通し、熱中症予防啓発と自主事業PRを併せて効果的に実施した。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性	B	
総合評価	B	